

ひまわりのたね

2年 せつめい文 ーばん

なまえ

夏になると、ひまわりは黄色い大きな花をさかせます。でも、この大きな花は、じつは一つの花ではありません。

花のまん中をよく見ると、小さなつぶつぶがぎっしりならんでいます。このつぶつぶの一つ一つが、小さな花なのです。大きなひまわりでは、小さな花が千こいじょうもあつまっています。

花がおわるころになると、小さな花の一つ一つが、たねになります。だから、ひまわり一本から、たくさんのたねがとれるのです。

とれたたねを春に土にまくと、めが出て、またひまわりがそだちます。



(1) 「ぎっしり」のいみに合うものを一つえらび、記ごとに○をつけましょう。

ア すきまなく、いっぱい

イ 一つだけぽつんと

ウ あいだをあけて、ばらばらと

エ まっすぐ一れつに

(2) 文しように書いてあることに合うものを一つえらび、記ごとに○をつけましょう。

ア ひまわりは、冬に花をさかせる。

イ ひまわりの花のまん中には、大きなたねが一つだけある。

ウ ひまわりのたねを春に土にまくと、めが出る。

エ ひまわり一本からは、たねが少しだけとれる。

(3) 花のまん中にあるつぶつぶの一つ一つは、何ですか。文しよから四字で書きぬきましょう。

(4) ひまわり一本から、たくさんのたねがとれるのは、なぜですか。書きましょう。

書き方のヒント

三つ目のだんらくの「だから」の前を見よう。

「くから。」でお知らせ。

ひまわりのたね

こたえ

2年 せつめい文 ーばん

なまえ

夏になると、ひまわりは黄色い大きな花をさかせます。でも、この大きな花は、じつは一つの花ではありません。

花のまん中をよく見ると、小さなつぶつぶがぎっしりならんでいます。このつぶつぶの一つ一つが、小さな花なのです。大きなひまわりでは、小さな花が千こいじょうもあつまっています。

花がおわるころになると、小さな花の一つ一つが、たねになります。だから、ひまわり一本から、たくさんのたねがとれるのです。

とれたたねを春に土にまくと、めが出て、またひまわりがそだちます。



(1) 「ぎっしり」のいみに合うものを一つえらび、記ごとに○をつけましょう。

ア すきまなく、いっぱい

イ 一つだけぽつんと

ウ あいだをあけて、ばらばらと

エ まっすぐ一列に

(2) 文しように書いてあることに合うものを一つえらび、記ごとに○をつけましょう。

ア ひまわりは、冬に花をさかせる。

イ ひまわりの花のまん中には、大きなたねが一つだけある。

ウ ひまわりのたねを春に土にまくと、めが出る。

エ ひまわり一本からは、たねが少しだけとれる。

(3) 花のまん中にあるつぶつぶの一つ一つは、何ですか。文しよから四字で書きぬきましょう。

小
さ
な
花

(4) ひまわり一本から、たくさんのたねがとれるのは、なぜですか。書きましょう。

(れい) 小さな花の一つ一つが、たねになるから。

書き方のヒント

三つ目のだんらくの「だから」の前を見よう。

「くから」でおわらせる。

解答・解説 ひまわりの たね（2年・せつめい文）

もん 問1 ア

二つ目の だんらくに「^{ちい}小さな ^{つぶつぶ}つぶが ^{ぎっしり}ぎっしり ならんでいます」と書いてあります。すきまなく いっぱいにならんでいるようすです。

もん 問2 ウ

四つ目の だんらくに「とれた ^{たね}たねを ^{はる}春に ^{つち}土に まくと、^{めが}めが ^で出て」と書いてあります。ひまわりがさくのは ^{なつ}夏で、たねはたくさん とれます。

もん 問3 小さな 花

二つ目の だんらくに「この ^{つぶつぶ}つぶの ^{ひとつ}一つ一つが、^{ちい}小さな ^{はな}花なのです」と書いてあります。

もん 問4 （れい）小さな 花の 一つ一つが、たねになるから。

三つ目の だんらくの「だから」の ^{まえ}前に「^{ちい}小さな ^{はな}花の ^{ひとつ}一つ一つが、たねになります」と書いてあります。^{ちい}小さな ^{はな}花がたねになる ことが ^か書けていれば ○です。